

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	此花区役所	担当	窓口サービス課(住民情報)	債権整理番号(3ケタ)	002	債権区分	非強制徴収公債権(非強公)	債権名	情報公開請求にかかる手数料
----	-------	----	---------------	-------------	-----	------	---------------	-----	---------------

1. 令和3年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したのも

(例)令和3年度修正目標=令和3年度当初に、令和2年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和3年度当初目標を修正したのも

過年度	A	現年度	A	合計(過年度+現年度)	A
-----	---	-----	---	-------------	---

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが、目標は未達、「B2」… 取組みは予定通り実施できず、目標も未達、「-」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:円)

	過年度分									現年度分						合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア =前年度分	イ =ア-ウ (▲=増加を表す)	ウ	エ	オ	カ =イ+エ+オ	キ =エ÷ウ	ク =カ÷ア	ケ =ウ-(エ+オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' =エ'+オ'	キ' =エ'÷ウ'	ク' =カ'÷ウ'	ケ' =ウ'- (エ'+オ')	キ'' =(エ+エ') ÷(ウ+ウ')	ク'' =(カ+カ') ÷(ウ+ウ')	ケ'' =ケ+ケ'
A 令元実績	112	0	112	0	0	0	0.0%	0.0%	112	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	112
B 令2実績	112	0	112	0	0	0	0.0%	0.0%	112	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	112
C 令3修正目標	112	0	112	0	0	0	0.0%	0.0%	112	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	112
D 令3実績	112	0	112	0	0	0	0.0%	0.0%	112	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	112
E 令4当初目標	112	0	112	0	0	0	0.0%	0.0%	112	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	0.0%	112
F 令4修正目標	112	0	112	0	112	112	0.0%	100.0%	0	0	0	0	0	-	-	0	0.0%	100.0%	0
G 令5当初目標	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	-	-	0	-	-	0

3. 令和3年度決算見込における未収金実績の状況(区分別の未収債権の件数・未収金残高、債務者数) … 未収債権の件数及び債務者数については、色付け箇所のみ、整数で入力。未収金残高については、色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数で入力

(残高の単位:円)

分類	回収債権									整理債権						合計	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		⑯
未収債権の件数										0					1		1
未収金残高										0					112		112
未収債権の件数										0					0		0
未収金残高										0					0		0

【未収債権の件数及び債務者数並びに分類の考え方】
 ① 未収債権の件数は、原則、調定件数とする。調定をまとめて行っている場合は、事実上の債権の件数とする。(例:毎月の定期給付債権の場合、1人の債務者につき、1年間で12件の債権が発生していることとなる。)
 ② 1つの債権に、連帯債務者や連帯保証人が設定されている場合であっても、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考え、3の表は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。
 ③ 債務者が死亡した場合、相続人が複数いる場合、相続割合に従い、債務が相続される(債務が分割して相続される)が、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考える。それぞれの相続人で、未収債権の状況が異なる場合、3の表は、相続された債務額の最も大きい相続人の状況で分類する。同額の場合は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。
 ※ 未収債権の進捗状況 … ① → ② → ③ ⇒ 回収債権: ④ → ⑤) 又は ⑥) 又は ⑦) 又は ⑧) 又は ⑨) / 整理債権: { ⑩) 又は ⑪) 又は ⑫) → ⑬) } → ⑭) 又は ⑮) → ⑯)

令和3年度 決算見込に おける 債務者数	1	人
令和3年度決算見込における 未収債権の件数(過年度+現年度)	1	
令和3年度決算見込における 未収金残高(過年度+現年度)	112	
上記2のD(令2実績)のケ		

4. 令和3年度の取組内容の検証など

	過年度	現年度
取組内容	納付の見込みがなく、債権金額が少額で、取立てに要する費用に満たないと認められるため、地方自治法施行令第171条の5に基づき、徴収停止をおこなう。	-
取組実績	令和2年1月9日所属として徴収停止の判断済。	-
課題	徴収停止済のため特になし。	-
改善策	徴収停止済のため特になし。	-

5. 令和4年度の取組内容 … 「1. 令和3年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況」及び「4. 令和3年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

	過年度	現年度
取組内容	令和5年3月に時効が完成するため、不納欠損処理を行う予定。	-